名前:	学籍番	:号:	(
Linux 上でコマンドを用いて	ハードディスク (SSD)	の残り容量を知るには	t
入力する。これにより、Size	すなわち Us	ed すなわち	Avail すな
ちUse%すなわ	<u></u> -	<u></u>	
Linux を使うときに、キーボ			ンドを Enter
実行するとその結果の文字列	が表示される画面、 のこ	とを	と呼び、
字2文字でと呼ぶ			
呼ばれる横 80 縦 24 文字を刻			
かを模倣したソフトウェア環	境は	と呼ばれる。	
% echo SHELL 🖻 と入力す			る。
% echo \$SHELL   ≥ と入力す			
上記の\$SHELL で記述される			
上記の変数の例で SHELL 以			
 登録されている上記の変数を		コマンドを入力	]する
カーネルの外側にあって、人	間のコマンド入力と画面	出力を支援するソフト	・ウェア部分
カーネルの外側にあって、人			・ウェア部分
カーネルの外側にあって、人	漢字一文字ではに	相当する。	・ウェア部分
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ	相当する。	
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代	漢字一文字ではに 表的なものを 5 つ列挙せ 支援の一つとして、例え	相当する。 よ ば ec で始まるコマン	ドは echo し
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例えキーを押せば、	相当する。 よ ば ec で始まるコマン コマンド名後半の ho	 ドは echo し は自動的に補
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え キーを押せば、 マンドは複数あるので、	相当する。 よ ば ec で始まるコマン コマンド名後半の ho % ca まで打って	 ドは echo し は自動的に補 キーを
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って される。また ca で始まるコ	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え キーを押せば、 マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるの	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力	ドは echo し は自動的に補 キーを することで追
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って される。また ca で始まるコー 回押せば、ca で始まるコー	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え キーを押せば、 マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるの の入力支援機能はアーキ	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力	 ドは echo し は自動的に補 キーを することで追 まる。
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って_ される。また ca で始まるコー 回押せば、ca で始まるコー 肢を選ぶことができる。 こ	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え キーを押せば、 マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるの の入力支援機能はアーキ てキーを押せば、	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力	 ドは echo し は自動的に補 キーを することで追 まる。
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って される。また ca で始まるコー 回押せば、ca で始まるコー 肢を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd まで複	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え キーを押せば、マンドは複数あるので、 / ドの候補が列挙されるの の入力支援機能はアーギ てキーを押せば、 精完される	相当する。 は ec で始まるコマン コマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力 コメントにも適用でき , /etc の下で pas で始	ー
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って される。また ca で始まるコー 回押せば、ca で始まるコー 肢を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd まで補 上記 cat コマンドは	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え キーを押せば、 マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるのの入力支援機能はアーキ てキーを押せば、 非元される を意味する	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力でさらに数文字入力できるに数文字入力できる。 /etc の下で pas で始	ドは echo し は自動的に被 キーを することで選 る。 まる唯一のこ
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って される。また ca で始まるコー 回押せば、ca で始まるコー 肢を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd まで終 上記 cat コマンドは ルートの下の/etc ディレクト	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え 生ーを押せば、 マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるのの入力支援機能はアーキ てキーを押せば、 非一を押せば、 まった押せば、 まった押せば、 まった押せば、 まった押せば、 はたされる して、例え	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力・ショメントにも適用でき、/etc の下で pas で始という英単語なの挙動を制御する	ドは echo しは自動的に被 まっさい まることで ほる。 まる 唯一の ここの 一部である。 ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここ
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って される。また ca で始まるコー 回押せば、ca で始まるコー 肢を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd まで補 上記 cat コマンドは	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え 生ーを押せば、 マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるのの入力支援機能はアーキ てキーを押せば、 非一を押せば、 まった押せば、 まった押せば、 まった押せば、 まった押せば、 はたされる して、例え	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力・ショメントにも適用でき、/etc の下で pas で始という英単語なの挙動を制御する	ドは echo しは自動的に被 まっさい まることで選る。 まる 唯一の ここの 一部である
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って される。また ca で始まるコマ 回押せば、ca で始まるコマン 肢を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd まで補 上記 cat コマンドは ルートの下の/etc ディレクト イルが入っている。これらの	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例えキーを押せば、マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるのの入力支援機能はアーキ てキーを押せば、 精完されるを意味する ・リには様々なプログラム ファイルの多くは	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力でさらに数文字入力できらに数文字入力できる。	ドは echo しは自動的に被 まってきる。 まる 唯一の まってきる。 まる である である ス (接尾辞)
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って」 される。また ca で始まるコロー 関を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd まで被上記 cat コマンドは ルートの下の/etc ディレクトイルが入っている。これらの ついている 入力支援に関するもう一つの	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例えキーを押せば、 マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるのの入力支援機能はアーキ てキーを押せば、 精完されるを意味する ・リには様々なプログラム ファイルの多くは の機能として、入力したこ	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力でさらに数文字入力でさらに数文字入力できる。	ドは echo しは自動的に被 まっていまる。 まる 唯一の まる。 まる である。 である である である (接尾辞)
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打るるって」 される。また ca で始まるコー 回押せば、ca で始まるコース 肢を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd までを 上記 cat コマンドは ルートの下の/etc ディレクト イルが入っている。これらの ついている 入力支援に関するもう一つの る。今までに入力したコマン	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例え 」キーを押せば、 マンドは複数あるので、 ンドの候補が列挙されるのの入力支援機能はアーキ てキーを押せば、 オーを押せば、 まっとは様々なプログラス のファイルの多くは の機能として、入力したま がどの履歴は	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って のでさらに数文字入力でさらに数文字入力でさらに数文字入力できる。 /etc の下で pas で始という英単語なの挙動を制御するというサフィック。 コマンドラインの履歴。コマンドを入って、コマンドを入って、	下は echo しは自動にをする。唯一の一方ででする。唯一の一方でです。 「ない」では、一方では、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方ででは、一方では、一方
カーネルの外側にあって、人 と呼ぶ。これは 上記ソフトウェアのうち、代 上記ソフトウェアによる入力 ないので、% ec まで打って」 される。また ca で始まるコロー 関を選ぶことができる。 こ % cat /etc/pas まで入力して イル% cat /etc/passwd まで被上記 cat コマンドは ルートの下の/etc ディレクトイルが入っている。これらの ついている 入力支援に関するもう一つの	漢字一文字ではに表的なものを5つ列挙せ 支援の一つとして、例えキーを押せば、マンドは複数あるので、 ノドの候補が列挙されるの の入力支援機能はアーキ てキーを押せば、 非完されるを意味するりには様々なプログラム ファイルの多くは. の機能として、入力したまで、 として、入力したまで、 とい場合は 表示したい場合は	相当する。 は ec で始まるコマンコマンド名後半の ho % ca まで打って かでさらに数文字入力でさらに数文字入力できられても適用でき、/etc の下で pas で始という英単語なのというサフィック。コマンドラインの履歴になっている。	ドは echo しは echo しは 自動的に補 する。 まる。 唯一 で おって ( 存 る す ) に なけっこ がけっこ で は で で で で で で で で で で で で で で で で で

マンドの方へ逆向きに戻ってくる。

上記により履歴を遡って表示されたコマンドラインはそのままリターンキーを押してもう
一度実行することもできるし、カーソルを移動して編集し、修正したコマンドラインを実行
することもできる。このカーソル移動は、矢印のついたカーソルキーによっても行えるが、
コントロール(ctrl)キーを用いて行うこともできる。カーソルを一つ左に動かすには、
ctrl+とし、一つ右に動かすには ctrl+とする。さらにバックスペースキーと同様の挙
動として、カーソルの左の文字を一つ消去するには ctrl+とし、デリートキーを押すの
と同様の動作としてカーソル直下の文字を一つ消去するには ctrl+とする。コマンド
ラインが乱れて、そのままリターンキーで入力したくない状態になってしまった時には、
ctrl+とすれば、コマンドラインを実行せずに終了することができる。
コマンド履歴を利用するもう一つの方法として、エクスクラメーションマークによるもの
がある。一つ前のコマンドを実行するにはとした後にリターンキーをうつ。ec では
じまる直近のコマンドを実行するにはとした後にリターンキーをうつ。履歴を
表示するコマンドのリストの左側に 12 と記されたコマンドを実行するにはとし
た後にリターンキーをうつ。
コマンドの挙動を変えるアーギュメントであるオプションには、ハイフン1つの右にアル
ファベット1文字をつけるオプションと、ハイフン2つの右に1文字以上
のを記述するオプションがある。前者のアルファベットは複数を組み
合わせて挙動の変化も組み合わせることができる。例えば ls コマンドの l オプションと a
オプションを組み合わせるには lsの様にコマンドラインを記述する。後者の例とし
て、ls コマンドの出力を逆順で表示するには lsの様にする。
ls コマンドのオプションとして、-F をつけると、表示されるものの種類によって右側に記
号が表示される。がつくのはディレクトリ、がつくのは実行可能ファイル、が
つくのはシンボリックリンクである。
コマンドの使い方について調べたい時、二つの方法がある。まず、それぞれのプログラムに、
ロングオプションとしてを付加して実行する方法である。もう一つは、コマン
ドのアーギュメントとして、調べたいコマンド名を付加する方法である。
上記の後者は、後で説明する less というコマンドの機能を利用して、非常に長いテキスト
情報を画面に表示する。less ではまず先頭から1画面分の情報が表示されて止まる。ここで
キーを打てば次の1画面が表示され、同じキーを打つごとに順次次のページが表示される。
何ページか下に行ったところで、キーを打てば1画面ずつ上に戻ることもできる。
less による画面の表示を終了するにはキーを入力する。